

2010（平成22）年度「認証評価」申請用
大学基礎データ

北海道医療大学

目 次

I 教育研究組織

1	(表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2009年5月1日現在)	1
2	(表2) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2010年4月1日現在)	2

II 教育内容・方法等

1	(表3) 開設授業科目における専兼比率	3
2	(表4) 単位互換協定に基づく単位認定の状況	10
3	(表5) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況	11
4	(表6) 卒業判定	12
5	(表7) 大学院における学位授与状況	13
6	(表8) 就職・大学院進学状況	14
7	(表9) 国家試験合格率	17
8	(表10) 公開講座の開設状況	18
9	(表11) 学生の国別国際交流	19
10	(表12) 教員・研究者の国際学術研究交流	20

III 学生の受け入れ

1	(表13) 学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移	21
2	(表14) 学部・学科の学生定員及び在籍学生数	29
3	(表15) 学部の入学者の構成	30
4	(表17) 学部・学科の退学者数	31
5	(表18) 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数	32
6	(表18-2) 法科大学院の学生定員及び在籍学生数	33
7	(表18-3) 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移	34
8	(表18-4) 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移	42

IV 教員組織

1-1	(表19) 全学の教員組織 (教育組織と教員組織が異なる場合の記入例)	43
1-2	(表19-2) 学部の教員組織	44
1-3	(表19-3) 大学院研究科の教員組織 (専門職大学院を除く)	45
1-4	(表19-4) 専門職大学院の教員組織	46
1-5	(表19-5) 事務組織	47
2	(表20) 専任教員個別表	別冊
3	(表21) 専任教員年齢構成	48
4	(表22) 専任教員の担当授業時間	53
5	(表23) 専任教員の給与	58

V 研究環境

1	(表24) 専任教員の教育・研究業績	別冊
2	(表25) 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	59
3	(表29) 専任教員の研究費 (実績)	60
4	(表30) 専任教員の研究旅費	61
5	(表31) 学内共同研究費	62
6	(表32) 教員研究費内訳	63
7	(表33) 科学研究費の採択状況	71
8	(表34) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額	72
9	(表35) 教員研究室	73

VI 施設・設備等

1	(表36) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積	74
2	(表36-2) 主要施設の概況	75
3	(表37) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模	76
4	(表38) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模	77
5	(表40) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表	78

VII 図書・電子媒体

1	(表41) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	82
2	(表42) 図書館利用状況	83
3	(表43) 学生閲覧室等	84

VIII 学生生活

1	(表44) 奨学金給付・貸与状況	85
2	(表45) 学生相談室利用状況	87

IX 財務（私立大学のみ）

1-1	(表46) 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）	88
1-2	(表46-2) 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの）	89
2	(表47) 貸借対照表関係比率	90

X 情報公開・説明責任

1	(表48) 財政公開状況（私立大学のみ）	91
2	(表48-2) 財政公開状況（公立大学法人のみ）	92

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2009年5月1日現在）

（表1）

名 称	開設年月日	所 在 地	備 考
薬学部 薬学科 総合薬学科	1974年4月1日	北海道石狩郡当別町金沢1757番地	(*1)2006.4月 受け入れ開始
	1996年4月1日		2006.4月 募集停止
歯学部 歯学科	1978年4月1日	同上	
看護福祉学部 看護学科 臨床福祉学科	1993年4月1日	同上	医療福祉学科(1993年4月1日開設)から名称変更
	2002年4月1日		
心理科学部 臨床心理学科 言語聴覚療法学科	2002年4月1日	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
	2002年4月1日		
大学院薬学研究科 薬学専攻 修士課程 薬学専攻 博士課程 医療薬学専攻 修士課程	1978年4月1日	北海道石狩郡当別町金沢1757番地	
	1982年4月1日		
	1996年4月1日		
大学院歯学研究科 歯学専攻 博士課程	1988年4月1日	同上	
大学院看護福祉学研究科 看護学専攻 修士課程 看護学専攻 博士課程 臨床福祉学専攻 修士課程 臨床福祉学専攻 博士課程	1997年4月1日	同上	
	1999年4月1日		
	2004年4月1日		
	2004年4月1日		
大学院心理科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程 臨床心理学専攻 博士課程 言語聴覚学専攻 修士課程 言語聴覚学専攻 博士課程	2004年4月1日	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
	2004年4月1日		
	2006年4月1日		
	2006年4月1日		
個体差医療科学センター	2005年7月1日	同上	医療科学センター(1990年10月1日開設)から名称変更
個体差健康科学研究所	2002年1月1日	北海道石狩郡当別町金沢1757番地	医科学研究センター(1994年5月1日設置)から名称変更
北海道医療大学病院	2005年7月1日	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	医科歯科クリニック(1990年10月1日開院)から名称変更
北海道医療大学歯科内科クリニック	2005年7月1日	北海道石狩郡当別町金沢1757番地	歯学部附属病院(1978年12月1日開設)から名称変更
大学教育開発センター	2007年4月1日	同上	

[注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください。

2 当該学部、研究科の開設が届出による場合は、備考欄にその旨記載してください。

3 当該研究科もしくは専攻が専門職大学院である場合は、備考欄にその旨記載してください。

4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、学部にならない記載してください。

5 通信教育課程、専攻科、別科等があれば、これも記載してください。

2 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2010年4月1日現在）

（表2）

学部、大学院研究科等	学科、専攻の名称	収容定員(名)	所 在 地	備 考
薬学部	薬学科(*1)	780	北海道石狩郡当別町金沢1757番地	(*1)2006年4月 受け入れ開始
	総合薬学科	0	同上	2006年4月 募集停止
歯学部	歯学科	600	同上	
看護福祉学部	看護学科	380	同上	
	臨床福祉学科	380	同上	
心理科学部	臨床心理学科	260	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
	言語聴覚療法学科	224	同上	
薬学研究科	薬学専攻（修士課程）	16	北海道石狩郡当別町金沢1757番地	2010年4月 募集停止
	薬学専攻（博士後期課程）	12	同上	
	医療薬学専攻（修士課程）	24	同上	2010年4月 募集停止
	生命薬科学専攻（修士課程）	3	同上	2010年4月 受け入れ開始
歯学研究科	歯学専攻（博士課程）	72	同上	
看護福祉学研究科	看護学専攻（修士課程）	30	同上	
	看護学専攻（博士後期課程）	6	同上	
	臨床福祉学専攻（修士課程）	10	同上	
	臨床福祉学専攻（博士後期課程）	6	同上	
心理科学研究科	臨床心理学専攻（修士課程）	20	北海道札幌市北区あいの里2条5丁目	
	臨床心理学専攻（博士後期課程）	6	同上	
	言語聴覚学専攻（修士課程）	10	同上	
	言語聴覚学専攻（博士後期課程）	6	同上	
		2,845		

- [注] 1 申請年（2010年）4月1日付で設置している学部・学科、研究科・専攻を記入してください（募集停止しているものを含みます）。
2 通信教育課程があれば、これも記載してください。
3 申請年度（2010年度）から学生受け入れを開始、名称を変更した学部・学科、研究科・専攻名は、備考欄にその旨を付記してください。
4 学生募集を停止している学部・学科、研究科・専攻名には、備考欄にその旨を付記してください。
5 専門職大学院は、該当する研究科・専攻名に、（専門職）と付記してください。
6 申請年4月時に完成年度に達していない学部・学科、研究科・専攻には（※1）を、申請資格充足年度（完成年度＋1年）を経していない学部・学科、研究科・専攻には（※2）を付記し、備考欄に学生受入れ年月を記入してください。
7 収容定員は、入学定員を変更している場合、編入学を実施している場合、完成年度に達していない場合、学生募集を停止している場合など、「現在の入学定員×標準修業年限」では算出できませんので注意してください。
8 現在、文部科学省に設置申請中の学部・学科、大学院研究科・専攻・課程（修士・博士）がある場合は、記載してください。

Ⅱ 教育研究の内容・方法等

1 開設授業科目における専兼比率

(表3-①)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
薬学部	薬学科 (新カリキュラム／ 第1学年に適用)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	7.0	0.0	7.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
		全学教育科目	専任担当科目数 (A)	14.1	0.0	21.8
			兼任担当科目数 (B)	0.9	0.0	2.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	94.0%	0.0%	90.8%
	薬学科 (旧カリキュラム／ 第2～4学年に適用)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	66.7	0.0	91.7
			兼任担当科目数 (B)	1.3	0.0	2.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	98.1%	0.0%	97.6%
		教養教育科目	専任担当科目数 (A)	0.8	4.0	5.8
			兼任担当科目数 (B)	1.2	0.0	2.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	40.0%	100.0%	72.5%

(表 3-②)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
歯学部	歯学科 (新カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	47.8	0.0	50.8
			兼任担当科目数 (B)	12.2	0.0	12.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	79.7%	0.0%	80.6%
		全学教育科目 (教養教育科目)	専任担当科目数 (A)	20.9	0.0	33.7
			兼任担当科目数 (B)	6.9	0.0	9.3
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75.2%	0.0%	78.4%
	歯学科 (旧カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	46.3	0.0	49.3
			兼任担当科目数 (B)	9.7	0.0	9.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	82.7%	0.0%	83.6%
		基礎教育科目 (教養教育科目)	専任担当科目数 (A)	22.7	13.0	35.7
			兼任担当科目数 (B)	7.4	2.0	9.4
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75.4%	86.7	79.2%

(表 3-③)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
看護福祉学部	看護学科 (新カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	18.0	0.0	18.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
		教養教育科目	専任担当科目数 (A)	5.0	0.0	28.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	2.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	93.3%
	臨床福祉学科 (新カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	14.0	0.0	14.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
		教養教育科目	専任担当科目数 (A)	5.0	0.0	28.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	2.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	93.3%

(表 3-④)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
看護福祉学部	看護学科 (旧カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	46.4	0.0	54.9
			兼任担当科目数 (B)	4.6	0.0	10.1
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	91.0%	0.0%	84.5%
		教養教育科目	専任担当科目数 (A)	0.3	0.0	6.3
			兼任担当科目数 (B)	0.7	0.0	2.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	30.0%	0.0%	70.0%
	臨床福祉学科 (旧カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	22.5	0.0	65.0
			兼任担当科目数 (B)	3.5	0.0	20.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	86.5%	0.0%	76.5%
		教養教育科目	専任担当科目数 (A)	0.3	0.0	6.3
			兼任担当科目数 (B)	0.7	0.0	2.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	30.0%	0.0%	70.0%

(表 3-⑤)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
心理科学部	臨床心理学科 (新カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	10.0	1.0	11.0
			兼任担当科目数 (B)	1.0	0.0	1.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	90.9%	100.0%	91.7%
		全学教育科目	専任担当科目数 (A)	5.7	7.1	12.8
			兼任担当科目数 (B)	1.3	4.9	6.2
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	81.4%	59.2%	67.4%
	言語聴覚療法学科 (新カリキュラム)	専門教育科目	専任担当科目数 (A)	10.2	0.0	10.2
			兼任担当科目数 (B)	0.8	0.0	0.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	92.7%	0.0%	92.7%
		全学教育科目	専任担当科目数 (A)	7.0	12.3	19.3
			兼任担当科目数 (B)	1.0	6.7	7.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	87.5%	64.7%	71.5%

(表 3-⑥)

学部・学科				必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
心理科学部	臨床心理学科 (旧カリキュラム)	臨床心理専門科目	専任担当科目数 (A)	24.0	0.0	31.3
			兼任担当科目数 (B)	1.0	0.0	3.7
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	96.0%	0.0%	89.4%
		心理科学基盤科目 ・文理連携科目	専任担当科目数 (A)	6.8	0.0	17.5
			兼任担当科目数 (B)	2.2	0.0	8.5
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75.6%	0.0%	67.3%
	言語聴覚療法学科 (旧カリキュラム /第2・3学年に適用)	言語聴覚基盤科目・ 言語聴覚障害科目	専任担当科目数 (A)	34.1	0.0	36.1
			兼任担当科目数 (B)	2.9	0.0	3.9
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	92.2%	0.0%	90.3%
		心理科学基盤科目 ・文理連携科目	専任担当科目数 (A)	3.0	0.0	11.2
			兼任担当科目数 (B)	1.0	0.0	3.8
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	75.0%	0.0%	74.7%
	言語聴覚療法学科 (旧カリキュラム /第4学年に適用)	言語聴覚基盤科目・ 言語聴覚障害科目	専任担当科目数 (A)	3.0	0.0	6.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	100.0%	0.0%	100.0%
		心理科学基盤科目 ・文理連携科目	専任担当科目数 (A)	0.0	0.0	0.0
			兼任担当科目数 (B)	0.0	0.0	0.0
			専兼比率 % (A / (A + B) * 100)	0.0%	0.0%	0.0%

- [注] 1 この表は、大学設置基準第10条にいう「教育上主要と認める授業科目」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 2 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 3 カリキュラムを改定した場合は、改定前・後、それぞれ分けて作表してください。
- 4 「専門教育」欄および「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を付してください。その場合であっても、おおよそ専門教育的な教育と教養教育的な教育に分けて記入してください。
- 5 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 6 セメスター制を採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合はそれぞれの学期について作表してください。
- 7 同一科目を週2回実施している場合の計算方法は下記の通りです。
- ①同一講師による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1となります。
- ②複数教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5となります。
- 8 実験・実習等において兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載してください。
(例：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任0.8、兼任0.2となります)。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況 (表4)

該当なし

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況 (表5)

該当なし

4 卒業判定

(表 6)

学部・学科		2006年度			2007年度			2008年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
薬学部	総合薬学科	202	176	87.1%	188	168	89.4%	179	141	78.8%
歯学部	歯学科	115	88	76.5%	115	89	77.4%	124	96	77.4%
看護福祉学部	看護学科	94	93	98.9%	105	105	100.0%	100	98	98.0%
	臨床福祉学科	97	95	97.9%	84	82	97.6%	88	85	96.6%
	医療福祉学科	1	1	100.0%	—	—	—	—	—	—
看護福祉学部 計		192	189	98.4%	189	187	98.9%	188	183	97.3%
心理科学部	臨床心理学科	57	55	96.5%	62	62	100.0%	63	63	100.0%
	言語聴覚療法学科	61	55	90.2%	67	54	80.6%	68	66	97.1%
心理科学部 計		118	110	93.2%	129	116	89.9%	131	129	98.5%
計		627	563	89.8%	621	560	90.2%	622	549	88.3%

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表7)

研究科・専攻			2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		備考
			修了予定 者数	学位授与 者数	修了予定 者数	学位授与 者数	修了予定 者数	学位授与 者数	修了予定 者数	学位授与 者数	修了予定 者数	学位授与 者数	
薬学研究科	薬学専攻	修士 博士(前期)	13	13	15	15	7	7	8	8	11	9	
		博士(課程)	0	1	4	1	5	1	3	2	6	1	
		博士(論文)	—	2	—	1	—	0	—	0	—	1	
	医療薬学専攻	修士 博士(前期)	9	8	15	14	14	13	20	20	15	14	
歯学研究科	歯学専攻	博士(課程)	9	8	10	9	11	9	7	5	9	8	
		博士(論文)	—	4	—	3	—	2	—	4	—	4	
看護福祉学 研究科	看護学専攻	修士 博士(前期)	19	19	14	11	16	13	14	12	22	16	
		博士(課程)	3	2	3	0	5	0	3	3	5	3	
		博士(論文)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	臨床福祉学専攻	修士 博士(前期)	—	—	7	5	11	11	3	2	6	4	2004年4月開設
		博士(課程)	—	—	—	—	0	0	0	0	1	0	2004年4月開設
		博士(論文)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
心理科学研究科	臨床心理学専攻	修士 博士(前期)	—	—	12	11	13	13	14	13	14	13	
		博士(課程)	—	—	—	—	1	0	4	2	4	3	
		博士(論文)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
	言語聴覚学専攻	修士 博士(前期)	—	—	—	—	—	—	5	4	5	4	
		博士(課程)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0	
		博士(論文)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

[注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。

2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表 8-①)

学 部	進 路	2006年度	2007年度	2008年度	備考
薬学部	就職	民間企業	52	41	57
		官公庁	0	0	0
		教員	0	0	0
		上記以外	59	77	43
	進学	自大学院	28	14	14
		他大学院	10	9	11
		上記以外	0	0	0
	そ の 他		27	27	16
	合 計		176	168	141

(表 8-②)

学 部	進 路	2006年度	2007年度	2008年度	備考
歯学部	就職	民間企業	0	0	0
		官公庁	0	0	0
		教員	0	0	0
		上記以外	66	62	67
	進学	自大学院	0	0	0
		他大学院	0	0	0
		上記以外	0	0	0
	そ の 他		22	27	29
	合 計		88	89	96

(表 8-③)

学 部	進 路		2006年度	2007年度	2008年度	備考
看護福祉学部 看護学科	就職	民間企業	2	1	0	
		官公庁	2	4	4	
		教員	1	1	0	
		上記以外	78	92	83	
	進学	自大学院	0	0	0	
		他大学院	2	2	5	
		上記以外	4	3	4	
	そ の 他		4	2	2	
	合 計		93	105	98	
看護福祉学部 臨床福祉学科	就職	民間企業	65	58	52	
		官公庁	1	0	4	
		教員	0	0	0	
		上記以外	1	3	0	
	進学	自大学院	3	1	1	
		他大学院	3	1	1	
		上記以外	10	9	10	
	そ の 他		13	10	17	2006年度は医療福祉学科1名を含む
	合 計		96	82	85	

(表 8-④)

学 部	進 路	2006年度	2007年度	2008年度	備考
心理科学部 臨床心理学科	就職	民間企業	23	32	28
		官公庁	2	3	1
		教員	0	0	0
		上記以外	0	1	0
	進学	自大学院	9	7	10
		他大学院	2	8	7
		上記以外	8	5	5
	そ の 他	11	6	12	
	合 計	55	62	63	
心理科学部 言語聴覚療法学科	就職	民間企業	0	2	0
		官公庁	0	0	0
		教員	0	0	0
		上記以外	36	49	47
	進学	自大学院	6	1	1
		他大学院	1	0	0
		上記以外	0	0	0
	そ の 他	12	2	18	
	合 計	55	54	66	

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記
2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してく
3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

7 国家試験合格率

(表9)

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100
薬学部薬学科	薬剤師国家試験	123	114	92.7%
歯学部歯学科	歯科医師国家試験	96	67	69.8%
看護福祉学部看護学科	看護師国家試験	90	88	97.8%
	保健師国家試験	98	98	100.0%
看護福祉学部臨床福祉学科	社会福祉士国家試験	83	37	44.6%
	精神保健福祉士国家試験	22	16	72.7%
心理科学部言語聴覚療法学科	言語聴覚士国家試験	66	49	74.2%

[注] たとえば「医師国家試験」「薬剤師国家試験」「管理栄養士国家試験」などのように、当該学部・学科等の教育と関連の深い国家試験について記載してください。

8 公開講座の開設状況

(表10)

大学 研究 学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備考
	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
北海道医療大学共通	105	105	114	7,870	6,520	6,044	4,006	4,363	4,285	38.2	41.6	37.6	
合 計	105	105	114	7,870	6,520	6,044	4,006	4,363	4,285	38.2	41.6	37.6	

- [注] 1 ここでの公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。
 2 シンポジウム、講演会は含めないでください。

9 学生の国別国際交流

(表11)

国 名 学部・研究科	アメリカ合衆国		中華人民共和国		カナダ		台湾		インドネシア		その他		合計	
	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ	派 遣	受け入れ
薬学研究科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護福祉学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
3 2009年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表12)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2006年度		2007年度		2008年度		2006年度		2007年度		2008年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
薬学部	新規	5	0	7	0	11	0	1	1	1	1	3	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
歯学部	新規	28	1	14	0	22	0	2	0	1	1	2	0
	継続	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1
看護福祉学部	新規	6	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理科学部	新規	3	0	2	0	3	0	1	0	2	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
個体差医療科学 センター	新規	5	0	4	0	6	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個体差健康科学 研究所	新規	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	新規	48	1	28	0	46	0	4	1	4	2	5	0
	継続	0	2	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1

- [注] 1 派遣、受け入れとも、1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。
- 2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。
- 3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表13-①)

		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入 学者数の比率 (2006 ～2010年度平均)
薬学部	総合薬学科	一般入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	
		AO入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	
		一般推薦入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	
		地域医療特別 推薦入試	志願者	-	-	-	-	-	
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	
	学 科 計		志願者	-	-	-	-	-	-
			合格者	-	-	-	-	-	
			入学者(A)	-	-	-	-	-	
			入学定員(B)	-	-	-	-	-	
			A/B*100	-	-	-	-	-	

(表13-②)

		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2006～2010年度平均)
薬学部	薬学科	一般入試	志願者	817	834	1,025	807	670	
			合格者	275	274	333	291	269	
			入学者(A)	95	91	99	97	97	
			入学定員(B)	103	103	100	100	96	
			A/B*100	92.2	88.3	99.0	97.0	101.0	
		AO入試	志願者	23	38	21	22	37	
			合格者	8	16	12	14	29	
			入学者(A)	8	16	12	14	28	
			入学定員(B)	6	6	6	6	10	
			A/B*100	133.3	266.7	200.0	233.3	280.0	
		指定校推薦	志願者	30	24	25	35	44	
			合格者	30	24	25	35	44	
			入学者(A)	30	24	25	35	42	
			入学定員(B)	14	19	22	22	22	
			A/B*100	214.3	126.3	113.6	159.1	190.9	
		一般推薦入試	志願者	60	38	37	29	18	
			合格者	25	29	29	24	15	
			入学者(A)	24	29	29	24	15	
			入学定員(B)	22	22	22	22	22	
			A/B*100	109.1	131.8	131.8	109.1	68.2	
		地域医療特別推薦入試	志願者	3	-	-	-	-	
			合格者	2	-	-	-	-	
			入学者(A)	2	-	-	-	-	
			入学定員(B)	5	-	-	-	-	
			A/B*100	40.0	-	-	-	-	
	学 科 計		志願者	933	934	1,108	893	769	111.5
			合格者	340	343	399	364	357	
			入学者(A)	159	160	165	170	182	
			入学定員(B)	150	150	150	150	150	
			A/B*100	106.0	106.7	110.0	113.3	121.3	
学 部 合 計			志願者	933	934	1,108	893	769	111.5
			合格者	340	343	399	364	357	
			入学者(A)	159	160	165	170	182	
			入学定員(B)	150	150	150	150	150	
			A/B*100	106.0	106.7	110.0	113.3	121.3	

(表13-③)

		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入学者数の比率 (2006～2010年度平均)
歯学部	歯学科	一般入試	志願者	721	642	651	375	251	
			合格者	179	194	269	274	205	
			入学者(A)	71	68	72	43	33	
			入学定員(B)	78	78	78	66	56	
			A/B*100	91.0	87.2	92.3	65.2	58.9	
		A O 入試	志願者	39	34	24	18	14	
			合格者	15	17	14	17	13	
			入学者(A)	15	17	14	17	10	
			入学定員(B)	8	8	8	10	20	
			A/B*100	187.5	212.5	175.0	170.0	50.0	
		指定校推薦	志願者	-	-	-	3	2	
			合格者	-	-	-	3	2	
			入学者(A)	-	-	-	3	2	
			入学定員(B)	-	-	-	10	10	
			A/B*100	-	-	-	30.0	20.0	
		一般推薦入試	志願者	26	14	11	5	3	
			合格者	11	11	10	4	3	
			入学者(A)	10	11	10	3	3	
			入学定員(B)	10	10	10	10	10	
			A/B*100	100.0	110.0	100.0	30.0	30.0	
	学 科 計		志願者	786	690	686	401	270	83.8
			合格者	205	222	293	298	223	
			入学者(A)	96	96	96	66	48	
			入学定員(B)	96	96	96	96	96	
			A/B*100	100.0	100.0	100.0	68.8	50.0	
学 部 合 計			志願者	786	690	686	401	270	80.4
			合格者	205	222	293	298	223	
			入学者(A)	96	96	96	66	48	
			入学定員(B)	100	100	100	100	100	
			A/B*100	96.0	96.0	96.0	66.0	48.0	

※入学定員100名だが、募集人員を96名で実施している。

(表13-④)

(表15-④)									
		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入学 者数の比率（2006～ 2010年度平均）
看護福祉学部	看護学科	一般入試	志願者	513	776	866	975	1,138	122.0
			合格者	181	175	210	191	190	
			入学者(A)	69	56	55	58	61	
			入学定員(B)	54	54	54	54	54	
			A/B*100	127.8	103.7	101.9	107.4	113.0	
		A O 入試	志願者	29	34	43	45	47	
			合格者	11	9	11	11	11	
			入学者(A)	11	9	11	11	11	
			入学定員(B)	6	6	6	6	6	
			A/B*100	183.3	150.0	183.3	183.3	183.3	
		指定校推薦	志願者	14	14	17	19	25	
			合格者	14	14	17	19	25	
			入学者(A)	14	14	17	19	25	
			入学定員(B)	15	15	15	15	15	
			A/B*100	93.3	93.3	113.3	126.7	166.7	
		一般推薦入試	志願者	18	43	46	34	52	
			合格者	18	22	25	26	18	
			入学者(A)	18	22	24	26	18	
			入学定員(B)	15	15	15	15	15	
			A/B*100	120.0	146.7	160.0	173.3	120.0	
	学 科 計	志願者	574	867	972	1,073	1,262		
		合格者	224	220	263	247	244		
		入学者(A)	112	101	107	114	115		
		入学定員(B)	90	90	90	90	90		
		A/B*100	124.4	112.2	118.9	126.7	127.8		

(表13-⑤)

		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入学者数の比率（2006～2010年度平均）
看護福祉学部	臨床福祉学科	一般入試	志願者	164	208	402	358	311	
			合格者	145	179	320	292	262	
			入学者(A)	61	55	65	48	49	
			入学定員(B)	64	45	45	45	50	
			A/B*100	95.3	122.2	144.4	106.7	98.0	
		A O入試	志願者	4	8	5	14	8	
			合格者	4	8	5	13	8	
			入学者(A)	4	8	5	13	8	
			入学定員(B)	6	10	10	10	10	
			A/B*100	66.7	80.0	50.0	130.0	80.0	
		指定校推薦	志願者	9	16	6	7	12	
			合格者	9	16	6	7	12	
			入学者(A)	9	16	6	6	12	
			入学定員(B)	15	20	20	20	15	
			A/B*100	60.0	80.0	30.0	30.0	80.0	
		一般推薦入試	志願者	2	5	6	1	1	
			合格者	2	5	6	1	1	
			入学者(A)	2	5	6	1	1	
			入学定員(B)	5	15	15	15	15	
			A/B*100	40.0	33.3	4.0	6.7	6.7	
	学 科 計	志願者	179	237	419	380	332	84.4	
		合格者	160	208	337	313	283		
		入学者(A)	76	84	82	68	70		
		入学定員(B)	90	90	90	90	90		
		A/B*100	84.4	93.3	91.1	75.6	77.8		
学 部 合 計	志願者	753	1,104	1,391	1,453	1,594	103.2		
	合格者	384	428	600	559	527			
	入学者(A)	188	185	189	182	185			
	入学定員(B)	180	180	180	180	180			
	A/B*100	104.4	102.8	105.0	101.1	102.8			

(表13-⑥)

(表13 ③)

		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入学者数の比率（2006～2010年度平均）
心理科学部	臨床心理学科	一般入試	志願者	277	284	560	472	434	
			合格者	155	141	212	247	252	
			入学者(A)	55	44	55	50	54	
			入学定員(B)	45	38	38	43	43	
			A/B*100	122.2	115.8	144.7	116.3	125.6	
		A O入試	志願者	15	14	9	17	10	
			合格者	7	5	5	10	7	
			入学者(A)	7	5	5	10	7	
			入学定員(B)	3	3	3	5	5	
			A/B*100	233.3	166.7	166.7	200.0	140.0	
		指定校推薦	志願者	-	8	4	2	8	
			合格者	-	8	4	2	8	
			入学者(A)	-	8	4	2	8	
			入学定員(B)	-	7	7	7	7	
			A/B*100	-	114.3	57.1	28.6	114.3	
		一般推薦入試	志願者	19	17	11	12	6	
			合格者	15	14	11	11	6	
			入学者(A)	15	14	10	11	6	
			入学定員(B)	12	12	12	10	10	
			A/B*100	125.0	116.7	83.3	110.0	60.0	
	学 科 計	志願者	311	323	584	503	458	119.5	
		合格者	177	168	232	270	273		
		入学者(A)	77	71	74	73	75		
		入学定員(B)	60	60	60	65	65		
		A/B*100	128.3	118.3	123.3	112.3	115.4		

(表13-⑦)

		入試の種類		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	入学定員に対する入学者数の比率（2006～2010年度平均）
心理科学部	言語聴覚療法学科	一般入試	志願者	144	215	426	323	346	
			合格者	94	101	118	191	194	
			入学者(A)	37	39	23	35	41	
			入学定員(B)	38	38	33	33	33	
			A/B*100	97.4	102.6	69.7	106.1	124.2	
		A O入試	志願者	18	17	21	22	22	
			合格者	7	9	13	13	16	
			入学者(A)	7	9	13	13	16	
			入学定員(B)	3	3	3	6	6	
			A/B*100	233.3	300.0	433.3	216.7	266.7	
		指定校推薦	志願者	-	-	3	2	7	
			合格者	-	-	3	2	7	
			入学者(A)	-	-	3	2	6	
			入学定員(B)	-	-	7	7	7	
			A/B*100	-	-	42.9	28.6	85.7	
		一般推薦入試	志願者	24	12	21	12	8	
			合格者	13	12	18	11	7	
			入学者(A)	13	12	18	11	7	
			入学定員(B)	9	9	7	7	7	
			A/B*100	144.4	133.3	257.1	157.1	100.0	
	学 科 計	志願者	186	244	471	359	383	119.0	
		合格者	114	122	152	217	224		
		入学者(A)	57	60	57	61	70		
		入学定員(B)	50	50	50	53	53		
		A/B*100	114.0	120.0	114.0	115.1	132.1		
学 部 合 計	志願者	497	567	1,055	862	841	119.3		
	合格者	291	290	384	487	497			
	入学者(A)	134	131	131	134	145			
	入学定員(B)	110	110	110	118	118			
	A/B*100	121.8	119.1	119.1	113.6	122.9			
大 学 合 計	志願者	2,969	3,295	4,240	3,609	3,474	104.7		
	合格者	1,220	1,283	1,676	1,708	1,604			
	入学者(A)	577	572	581	552	560			
	入学定員(B)	540	540	540	548	548			
	A/B*100	106.9	105.9	107.6	100.7	102.2			

※歯学部は入学定員100名だが、募集人員を96名で実施している。

- [注] 1 「編入学試験」は、この表には記入しないでください。
- 2 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。ただし、相当数の学生（約一割以上）を入学させている入試方法がある場合は、「その他」に含めず適宜欄を設けて記入してください。なお、該当しない入試方法の欄は削除してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 学部が複数学科で構成されている場合は、「学部合計」欄を設けて各学科の「計」欄の総数を「志願者」「合格者」「入学者」「入学定員」ごとに記入してください。また、学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。複数学部を設置している大学の場合は、「大学合計」欄を設け、「学部合計」と同様に記入してください。
- 6 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 7 5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年度平均）」欄に記入してください。
- 8 「留学生入試」に交換留学生は含めないでください。
- 9 各入学（募集）定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

2 学部・学科の学生定員及び在籍学生数

(表14)

学 部	学 科	入 定 学 員	編 入 定 員	収容定員		在籍学生数		B/A	D/C	在 籍 学 生 数												備 考
				総数 (A)	うち編入 学生数 (C)	総数 (B)	うち編入 学生数 (D)			第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		第 5 年次		第 6 年次		
										学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	学生数	留年者数 (内数)	
薬学部	総合薬学科	-	-	-	-	6	0	-	-	0	0	0	0	3	2	3	0	-	-	-	-	3 年次受け入れ
	薬学科	150	10	780	30	831	27	1.07	0.90	186	4	173	8	193	17	137	0	142	0	-	-	
計		150	10	780	30	837	27	1.07	0.90	186	4	173	8	196	19	140	0	142	0	-	-	
歯学部	歯学科	100	-	600	-	533	*7	0.89	-	54	6	81	18	95	6	110	16	90	1	103	34	歯学部欠員補充7名を含む
計		100	-	600	-	533	*7	0.89	-	54	6	81	18	95	6	110	16	90	1	103	34	
看護福祉学部	看護学科	90	10	380	20	446	7	1.17	0.35	116	1	114	1	116	6	100	0	-	-	-	-	3 年次受け入れ
	臨床福祉学 科	90	10	380	20	292	8	0.77	0.40	70	0	63	1	78	1	81	3	-	-	-	-	3 年次受け入れ
計		180	20	760	40	738	15	0.97	0.38	186	1	177	2	194	7	181	3	-	-	-	-	
心理科学部	臨床心理学 科	65	5	260	10	290	2	1.12	0.20	82	7	67	1	69	0	72	0	-	-	-	-	2009年度より入学定員5名増 の65名 2009年度より編入学定員10名 減の5名 3 年次受け入れ
	言語聴覚療 法学科	53	9	224	18	271	19	1.21	1.06	79	9	53	0	84	14	55	9	-	-	-	-	2009年度より入学定員3名増 の53名 2009年度より編入学定員6名 減の9名 3 年次受け入れ
計		118	14	484	28	561	21	1.16	0.75	161	16	120	1	153	14	127	9	-	-	-	-	
合 計		548	44	2,624	98	2,669	63	1.02	0.64	587	27	551	29	638	46	558	28	232	1	103	34	

*2010年5月1日現在

- [注] 1 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 2 収容定員は、定員変更などにより、現在の入学定員の4倍（6年制の学部は6倍）ではない場合がありますので、該当する年度ごとの入学定員、編入定員に注意してください。
- 3 現在の在籍学生に関わる入学定員及び編入定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記してください。
- 4 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。
- 5 編入定員を設定している場合は、備考欄にその受け入れ年次を記入してください。
- 6 「B/A」及び「D/C」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。
- 7 通信教育課程、専攻科、別科等についても学部の表に準じて作成してください。

3 学部の入学者の構成

(表15)

学 部	学 科		入 学 者 数					備 考
			一般入試	A0入試	指定校 推 薦	一般推薦 入 試	計	
薬 学 部	薬学科	募集定員	100	6	22	22	150	
		入学者数	97	14	35	24	170	
		計に対する割合	57.1%	8.2%	20.6%	14.1%	100.0%	
歯 学 部	歯学科	募集定員	66	10	10	10	96	
		入学者数	43	17	3	3	66	
		計に対する割合	65.2%	25.8%	4.5%	4.5%	100.0%	
看護福祉学部	看護学科	募集定員	54	6	15	15	90	
		入学者数	58	11	19	26	114	
		計に対する割合	50.9%	9.6%	16.7%	22.8%	100.0%	
	臨床福祉学科	募集定員	45	10	20	15	90	
		入学者数	48	13	6	1	68	
		計に対する割合	70.6%	19.1%	8.8%	1.5%	100.0%	
心理科学部	臨床心理学科	募集定員	43	5	7	10	65	
		入学者数	50	10	2	11	73	
		計に対する割合	68.5%	13.7%	2.7%	15.1%	100.0%	
	言語聴覚療法学科	募集定員	33	6	7	7	53	
		入学者数	35	13	2	11	61	
		計に対する割合	57.4%	21.3%	3.3%	18.0%	100.0%	
合 計		募集定員	341	43	81	79	544	
		入学者数	331	78	67	76	552	
		計に対する割合	60.0%	14.1%	12.1%	13.8%	100.0%	

- [注] 1 入試の種類については、「Ⅲ 1 学部・学科の志願者・合格者・入学者数の推移」(表13)と同様の区分で作成してください。
2 各学科および合計欄の下段には全入学者数に対する入試の種類ごとの割合を記入してください。
3 「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。
4 「その他」の入試による内訳を、備考欄に記載してください。
5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください
6 各募集定員が若干名の場合は「0」として記入してください。

4 学部・学科の退学者数

(表17)

学部	学科	2006年度							2007年度							2008年度						
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
薬学部	薬学科	0	0	0	1	-	-	1	1	2	0	0	-	-	3	0	0	0	1	-	-	1
	総合薬学科	2	-	-	-	-	-	2	5	0	-	-	-	-	5	7	3	1	-	-	-	11
計		2	0	0	1	-	-	3	6	2	0	0	-	-	8	7	3	1	1	-	-	12
歯学部	歯学科	1	1	1	0	0	1	4	1	3	4	2	1	6	17	2	0	0	2	0	4	8
計		1	1	1	0	0	1	4	1	3	4	2	1	6	17	2	0	0	2	0	4	8
看護福祉学部	看護学科	2	2	0	0	-	-	4	3	3	0	0	-	-	6	2	0	0	0	-	-	2
	臨床福祉学科	2	5	3	0	-	-	10	9	6	0	0	-	-	15	4	5	1	0	-	-	10
計		4	7	3	0	-	-	14	12	9	0	0	-	-	21	6	5	1	0	-	-	12
心理科学部	臨床心理学科	3	2	0	1	-	-	6	1	0	0	0	-	-	1	2	3	2	0	-	-	7
	言語聴覚療法学科	2	0	0	2	-	-	4	2	1	0	1	-	-	4	8	2	3	2	-	-	15
計		5	2	0	3	-	-	10	3	1	0	1	-	-	5	10	5	5	2	-	-	22
合 計		12	10	4	4	0	1	31	22	15	4	3	1	6	51	25	13	7	5	0	4	54

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

5 大学院研究科の学生定員及び在籍学生数

(表18)

研 究 科	専 攻	入学定員		収容定員		在籍学生数											
		修士課程	博士課程	修士課程(A)	博士課程(B)	修士課程						博士課程					
						一般	社会人	留学生	その他	計(C)	C/A	一般	社会人	留学生	その他	計(D)	D/B
薬学研究科	薬学専攻	16	4	32	12	12	1	0	0	13	0.41	6	1	0	0	7	0.58
	医療薬学専攻	24	—	48	—	18	2	0	0	20	0.42	—	—	—	—	—	—
計		40	4	80	12	30	3	0	0	33	0.41	6	1	0	0	7	0.58
歯学研究科	歯学専攻	—	18	—	72	—	—	—	—	—	—	38	4	0	0	42	0.58
計		—	18	—	72	—	—	—	—	—	—	38	4	0	0	42	0.58
看護福祉学研究科	看護学専攻	15	2	30	6	16	20	0	0	36	1.20	3	4	0	0	7	1.17
	臨床福祉学専攻	5	2	10	6	6	2	0	0	8	0.80	1	0	0	0	1	0.17
計		20	4	40	12	22	22	0	0	44	1.10	4	4	0	0	8	0.67
心理科学研究科	臨床心理学専攻	10	2	20	6	24	2	0	0	26	1.30	6	0	0	0	6	1.00
	言語聴覚学専攻	5	2	10	6	6	2	0	0	8	0.80	1	1	0	0	2	0.33
計		15	4	30	12	30	4	0	0	34	1.13	7	1	0	0	8	0.67
合 計		75	30	150	108	82	29	0	0	111	0.74	55	10	0	0	65	0.60

*2009年5月1日現在

- [注] 1 博士課程を前期と後期に区分している場合は、前期課程は修士課程の欄に後期課程は博士課程の欄に記載してください。
また、5年一貫制の博士課程は博士課程の欄に記載してください。
- 2 専門職学位課程については、該当する研究科・専攻名の後に「(専門職)」と付記し、付与する学位の種類に対応する欄に記載してください。
- 3 科目等履修生、聴講生、研究生は、在籍学生数には含めないでください。
- 4 「収容定員に対する在籍学生数比率」(C/A)および(D/B)欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示してください。

6 法科大学院の学生定員及び在籍学生数 (表18-2)

該当なし

7 大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移

(表18-3-①)

(表16-5 (1))										
研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）
薬学 研究科	薬学専攻	博士 前期 (修士) 課程	一般入試	志願者	1	2	4	1	3	
				合格者	1	2	4	1	3	
				入学者(A)	1	1	4	0	2	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	1	0	1	0	1	
				合格者	1	0	1	0	1	
				入学者(A)	1	0	1	0	1	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			推薦入試	志願者	4	8	11	6	2	
				合格者	4	8	11	6	2	
				入学者(A)	4	5	7	5	1	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			学内推薦入試	志願者	-	-	-	-	4	
				合格者	-	-	-	-	4	
				入学者(A)	-	-	-	-	2	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
	課程計	志願者	6	10	16	7	10			
		合格者	6	10	16	7	10			
		入学者(A)	6	6	12	5	6			
		入学定員(B)	16	16	16	16	16			
		A/B*100	37.5%	37.5%	75.0%	31.3%	37.5%			
	博士 後期 (博士) 課程	一般入試	志願者	0	5	1	1	1		
			合格者	0	5	1	1	1		
			入学者(A)	0	5	1	1	1		
			入学定員(B)	-	-	-	-	-		
			A/B*100	-	-	-	-	-		
社会人入試		志願者	1	0	0	0	0			
		合格者	1	0	0	0	0			
		入学者(A)	1	0	0	0	0			
		入学定員(B)	-	-	-	-	-			
		A/B*100	-	-	-	-	-			
課程計	志願者	1	5	1	1	1	45.0%			
	合格者	1	5	1	1	1				
	入学者(A)	1	5	1	1	1				
	入学定員(B)	4	4	4	4	4				
	A/B*100	25.0%	125.0%	25.0%	25.0%	25.0%				
専攻計		志願者	7	15	17	8	11	44.0%		
		合格者	7	15	17	8	11			
		入学者(A)	7	11	13	6	7			
		入学定員(B)	20	20	20	20	20			
		A/B*100	35.0%	55.0%	65.0%	30.0%	35.0%			

(表18-3-②)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）
薬学 研究 科	医療薬学専攻	博士前期 (修士)課程	一般入試	志願者	4	5	1	1	1	
				合格者	4	5	1	1	1	
				入学者(A)	3	4	1	1	1	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	1	0	0	1	1	
				合格者	1	0	0	1	1	
				入学者(A)	1	0	0	1	1	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			推薦入試	志願者	16	24	15	9	2	
				合格者	16	24	15	9	2	
				入学者(A)	13	18	14	8	1	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			学内推薦入試	志願者	-	-	-	-	9	
				合格者	-	-	-	-	9	
				入学者(A)	-	-	-	-	7	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
	課程計	志願者	21	29	16	11	13	61.7%		
		合格者	21	29	16	11	13			
		入学者(A)	17	22	15	10	10			
		入学定員(B)	24	24	24	24	24			
		A/B*100	70.8%	91.7%	62.5%	41.7%	41.7%			
	専攻計	志願者	21	29	16	11	13	61.7%		
		合格者	21	29	16	11	13			
		入学者(A)	17	22	15	10	10			
入学定員(B)		24	24	24	24	24				
A/B*100		70.8%	91.7%	62.5%	41.7%	41.7%				
研 究 科 合 計				志願者	28	44	33	19	24	53.6%
				合格者	28	44	33	19	24	
				入学者(A)	24	33	28	16	17	
				入学定員(B)	44	44	44	44	44	
				A/B*100	54.5%	75.0%	63.6%	36.4%	38.6%	

(表18-3-③)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）
歯学 研究科	歯学専攻	博士 課程	一般入試	志願者	7	2	12	10	14	
				合格者	7	2	12	10	14	
				入学者(A)	6	2	12	10	14	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	3	0	1	2	1	
				合格者	3	0	1	2	1	
				入学者(A)	3	0	1	2	1	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			課程計	志願者	10	2	13	12	15	56.7%
				合格者	10	2	13	12	15	
				入学者(A)	9	2	13	12	15	
				入学定員(B)	18	18	18	18	18	
				A/B*100	50.0%	11.1%	72.2%	66.7%	83.3%	
		専攻計		志願者	10	2	13	12	15	56.7%
	合格者			10	2	13	12	15		
	入学者(A)			9	2	13	12	15		
	入学定員(B)			18	18	18	18	18		
	A/B*100			50.0%	11.1%	72.2%	66.7%	83.3%		
研 究 科 合 計				志願者	10	2	13	12	15	56.7%
				合格者	10	2	13	12	15	
				入学者(A)	9	2	13	12	15	
				入学定員(B)	18	18	18	18	18	
				A/B*100	50.0%	11.1%	72.2%	66.7%	83.3%	

(表18-3-④)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）
看護福祉学 研究科	看護学専攻	博士 前期 (修士) 課程	一般入試	志願者	9	10	11	10	12	
				合格者	7	6	9	6	7	
				入学者(A)	7	6	9	6	7	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	9	6	13	12	10	
				合格者	8	5	13	9	8	
				入学者(A)	8	5	13	9	8	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
		課程計		志願者	18	16	24	22	22	104.0%
				合格者	15	11	22	15	15	
				入学者(A)	15	11	22	15	15	
				入学定員(B)	15	15	15	15	15	
				A/B*100	100.0%	73.3%	146.7%	100.0%	100.0%	
		博士 後期 (博士) 課程	一般入試	志願者	2	2	3	0	3	80.0%
				合格者	1	2	3	0	2	
				入学者(A)	1	2	3	0	2	
				入学定員(B)	2	2	2	2	2	
				A/B*100	50.0%	100.0%	150.0%	0.0%	100.0%	
		課程計		志願者	2	2	3	0	3	80.0%
				合格者	1	2	3	0	2	
				入学者(A)	1	2	3	0	2	
				入学定員(B)	2	2	2	2	2	
				A/B*100	50.0%	100.0%	150.0%	0.0%	100.0%	
	専攻計			志願者	20	18	27	22	25	101.2%
				合格者	16	13	25	15	17	
				入学者(A)	16	13	25	15	17	
				入学定員(B)	17	17	17	17	17	
				A/B*100	94.1%	76.5%	147.1%	88.2%	100.0%	

(表18-3-⑤)

(表16-3(5))											
研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）	
看護福祉学研究科	臨床福祉学専攻	博士 前期 (修士) 課程	一般入試	志願者	5	6	5	4	2		
				合格者	5	2	5	3	1		
				入学者(A)	5	2	5	3	1		
				入学定員(B)	-	-	-	-	-		
				A/B*100	-	-	-	-	-		
			社会人入試	志願者	4	1	1	1	1		
				合格者	4	1	1	1	1		
				入学者(A)	4	1	0	1	1		
				入学定員(B)	-	-	-	-	-		
				A/B*100	-	-	-	-	-		
			課程計	志願者	9	7	6	5	3		92.0%
				合格者	9	3	6	4	2		
		入学者(A)		9	3	5	4	2			
		入学定員(B)		5	5	5	5	5			
		A/B*100		180.0%	60.0%	100.0%	80.0%	40.0%			
		博士 後期 (博士) 課程	一般入試	志願者	0	1	0	0	0	10.0%	
				合格者	0	1	0	0	0		
				入学者(A)	0	1	0	0	0		
				入学定員(B)	2	2	2	2	2		
				A/B*100	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
			課程計	志願者	0	1	0	0	0	10.0%	
				合格者	0	1	0	0	0		
				入学者(A)	0	1	0	0	0		
				入学定員(B)	2	2	2	2	2		
	A/B*100			0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
	専攻計		志願者	9	8	6	5	3	68.6%		
			合格者	9	4	6	4	2			
			入学者(A)	9	4	5	4	2			
			入学定員(B)	7	7	7	7	7			
			A/B*100	128.6%	57.1%	71.4%	57.1%	28.6%			
研 究 科 合 計				志願者	29	26	33	27	28	91.7%	
				合格者	25	17	31	19	19		
				入学者(A)	25	17	30	19	19		
				入学定員(B)	24	24	24	24	24		
				A/B*100	104.2%	70.8%	125.0%	79.2%	79.2%		

(表18-3-⑥)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）
心理科学 研究科	臨床 心理学専攻	博士 前期 (修士) 課程	一般入試	志願者	27	40	33	22	26	132.0%
				合格者	11	14	8	9	9	
				入学者(A)	10	14	8	9	8	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	2	1	2	2	9	
				合格者	2	0	1	0	2	
				入学者(A)	2	0	1	0	2	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			学内推薦	志願者	-	-	5	7	8	
				合格者	-	-	5	3	4	
				入学者(A)	-	-	5	3	4	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			課程計	志願者	29	41	40	31	43	
				合格者	13	14	14	12	15	
				入学者(A)	12	14	14	12	14	
				入学定員(B)	10	10	10	10	10	
				A/B*100	120.0%	140.0%	140.0%	120.0%	140.0%	
	博士 後期 (博士) 課程	一般入試	志願者	3	3	2	3	2	100.0%	
			合格者	3	2	2	3	0		
			入学者(A)	3	2	2	3	0		
			入学定員(B)	2	2	2	2	2		
			A/B*100	150.0%	100.0%	100.0%	150.0%	0.0%		
課程計		志願者	3	3	2	3	2			
		合格者	3	2	2	3	0			
		入学者(A)	3	2	2	3	0			
		入学定員(B)	2	2	2	2	2			
		A/B*100	150.0%	100.0%	100.0%	150.0%	0.0%			
専攻計		志願者	32	44	42	34	45	126.7%		
		合格者	16	16	16	15	15			
		入学者(A)	15	16	16	15	14			
		入学定員(B)	12	12	12	12	12			
		A/B*100	125.0%	133.3%	133.3%	125.0%	116.7%			

(表18-3-⑦)

研究 科名	専攻名		入試の種類		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	入学定員に対する入学者 数の比率（2005～2009度 年平均）
心理科学 研究科	言語聴覚学専攻	博士前期 (修士)課程	一般入試	志願者	-	5	7	2	4	
				合格者	-	4	7	2	4	
				入学者(A)	-	4	7	2	4	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	-	1	0	0	2	
				合格者	-	1	0	0	2	
				入学者(A)	-	1	0	0	2	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			課程計	志願者	-	6	7	2	6	
				合格者	-	5	7	2	6	
				入学者(A)	-	5	7	2	6	
				入学定員(B)	-	5	5	5	5	
				A/B*100	-	100.0%	140.0%	40.0%	120.0%	
		博士後期 (博士)課程	一般入試	志願者	-	0	0	1	0	
				合格者	-	0	0	1	0	
				入学者(A)	-	0	0	1	0	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			社会人入試	志願者	-	1	0	0	1	
				合格者	-	1	0	0	1	
				入学者(A)	-	1	0	0	0	
				入学定員(B)	-	-	-	-	-	
				A/B*100	-	-	-	-	-	
			課程計	志願者	-	1	0	1	1	
				合格者	-	1	0	1	1	
				入学者(A)	-	1	0	1	0	
				入学定員(B)	-	2	2	2	2	
				A/B*100	-	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
	専攻計	志願者	-	7	7	3	7			
		合格者	-	6	7	3	7			
		入学者(A)	-	6	7	3	6			
		入学定員(B)	-	7	7	7	7			
		A/B*100	-	85.7%	100.0%	42.9%	85.7%			
研 究 科 合 計				志願者	32	51	49	37	52	112.4%
				合格者	16	22	23	18	22	
				入学者(A)	15	22	23	18	20	
				入学定員(B)	12	19	19	19	19	
				A/B*100	125.0%	115.8%	121.1%	94.7%	105.3%	
大学院合計				志願者	99	123	128	95	119	72.8%
				合格者	79	85	100	68	80	
				入学者(A)	73	74	94	65	71	
				入学定員(B)	98	105	105	105	105	
				A/B*100	74.5%	70.5%	89.5%	61.9%	67.6%	

- [注] 1 博士課程前期（修士）課程、博士課程後期（博士）課程、一貫制、専門職大学院のそれぞれの課程ごとに記入してください。
- 2 法科大学院については、（表18－4）に記入してください。
- 3 「その他」欄には上記の表に該当しない入試の状況を記入してください。その際、該当する入試の名称を（ ）内に記入してください。
- 4 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 5 入試の種類ごとに「入学定員に対する入学者」の割合を算出してください。
- 6 「課程」「専攻」「研究科」「大学院」の各計について、「入学定員に対する入学者数の比率（2005～2009年度平均）」欄に、5カ年の「入学定員に対する入学者」の割合を合計し、5で除した数値を記入してください。

8 法科大学院の志願者・合格者・入学者数の推移 (表18-4)

該当なし

IV 教員組織

1-1 全学の教員組織

(表19)

(表19)

学部・学科、研究科・ 専攻、研究所等		専任教員数										助手	備 考
		教授		准教授		講 師		助教		計			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		
薬学部	薬学科	21	0	15	0	17	0	12	0	65	0	0	
歯学部	歯学科	24	0	17	0	24	0	42	0	107	0	35	
看護福祉学部	看護学科	13	0	9	0	12	0	12	0	46	0	0	
	臨床福祉学科	8	0	8	0	4	0	3	0	23	0	0	
看護福祉学部 計		21	0	17	0	16	0	15	0	69	0	0	
心理科学部	臨床心理学科	7	0	5	0	3	0	1	0	16	0	0	
	言語聴覚療法学科	9	2	4	0	4	0	1	0	18	2	0	
心理科学部 計		16	2	9	0	7	0	2	0	34	2	0	
薬学研究科	薬学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	医療薬学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
薬学研究科 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歯学研究科	歯学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護福祉学研究科	看護学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
	臨床福祉学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
看護福祉学研究科 計		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
心理科学研究科	臨床心理学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	言語聴覚学専攻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
心理科学研究科 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
個性差医療科学センター		6	0	7	0	10	1	10	0	33	1	0	
個性差健康科学研究所		1	1	1	0	0	0	1	0	3	1	0	
大学教育開発センター		1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	
合 計		91	4	67	0	74	1	82	0	314	5	35	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載してください。
- 2 専門職大学院については、該当する研究科（または専攻名）の後に「（専門職）」と付記してください。
- 3 教育組織と教員組織が異なる場合は、専任教員が在籍しなくても、まず教育組織を記載し、その後に教員組織を記載し、当該教員組織に専任教員数を記入してください(次ページ記入例参照)。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 5 本表においては、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」についても、専任教員数に含めて記入してください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者（教育研究条件等において専任教員と同等の者）のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については記入しないでください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複して記入しないでください。

1-2 学部教員組織

(表19-2)

(表19-2)

学部・学科等		専任教員数										助手	設置基準 上 必要専任 教員数	専任教員1人 当たりの 在籍学生数 (表14(B)/計 (A))	兼 任 教員数	備 考
		教授		准教授		講 師		助教		計 (A)						
		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)						
薬学部	薬学科	21	0	15	0	17	0	12	0	65	0	0	32	10.8	11	TA 29名 *10.0
歯学部	歯学科	24	0	17	0	23	0	42	0	106	0	35	92	5.4	165	TA 27名
看護福祉学部	看護学科	12	0	9	0	12	0	12	0	45	0	0	12	9.9	-	TA 8名
	臨床福祉学科	8	0	8	0	4	0	3	0	23	0	0	14	13.0	-	TA 4名
看護福祉学部 計		20	0	17	0	16	0	15	0	68	0	0	26	11.0	57	TA 12名
心理科学部	臨床心理学科	7	0	5	0	3	0	1	0	16	0	0	10	17.9	-	TA 25名
	言語聴覚療法学科	9	2	4	0	4	0	1	0	18	2	0	14	13.3	-	TA 6名
心理科学部 計		16	2	9	0	7	0	2	0	34	2	0	24	15.5	28	TA 31名
個体差医療科学センター		6	0	7	0	4	0	7	0	24	0	0			0	
個体差健康科学研究所		1	1	1	0	0	0	1	0	3	1	0			0	
大学教育開発センター		1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0			0	
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数													31			
合 計		89	3	67	0	67	0	79	0	302	3	35	205		261	TA 99名

*薬学科のみの在籍学生で除した数字

[注] 1 「専任教員数」については、(表19)のうち、学部教育を担当する専任教員について作表してください。

- 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 3 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。その場合、(表19-3)及び(表19-4)の専任教員が、本表においても専任教員に算入されます。たとえば、大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合がこの典型的な例です。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 5 当該学部・学科の専任であっても、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 6 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともにその数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 7 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を複数の組織に重複記入しないでください。
- 8 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。併設短期大学からの兼務者も「兼任教員数」の欄に含めてください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は学科ごとではなく学部全体で記述しても結構です。
- 9 「設置基準上必要専任教員数」欄には、大学設置基準別表第一、第二をもとに算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 10 「助手」欄には、大学院研究科等の専任で学部の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 11 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1-3 大学院研究科の教員組織（専門職大学院を除く）

(表19-3)

研究科・専攻			専任教員数										助手	専任教員のうち		設置基準上必要専任教員数		兼任教員数	備考	
			教授		准教授		講師		助教		計			研究指導教員数	研究指導補助教員数	研究指導教員数	研究指導補助教員数			
			特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)	特任等 (内数)												
薬学研究科	薬学専攻	博士課程前期	8	1	5	0	5	0	0	0	18	1	0	8(8)	10	5(4)	4	4	RA 3名	
		博士課程後期	18	1	13	0	13	0	0	0	44	1	0	18(18)	26	8(6)	6			
	医療薬学専攻	修士課程	10	0	8	0	8	0	0	0	26	0	0	10(10)	16	5(4)	4			
歯学研究科	歯学専攻	博士課程	20	0	21	0	17	0	0	0	58	0	0	19(19)	39	18(12)	18	10	RA 7名	
看護福祉学研究科	看護学専攻	博士課程前期	11	1	5	0	1	0	0	0	17	1	0	10(10)	7	6(4)	6	24		
		博士課程後期	9	1	4	0	0	0	0	0	13	1	0	9(9)	4	6(4)	6			
	臨床福祉学専攻	博士課程前期	7	0	7	0	0	0	0	0	14	0	0	7(7)	7	4(3)	3			
		博士課程後期	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7(7)	0	4(3)	3			
心理科学研究科	臨床心理学専攻	博士課程前期	6	0	4	0	2	0	1	0	13	0	0	6(6)	7	2(2)	2	8	RA 1名	
		博士課程後期	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5(5)	0	2(2)	2			
	言語聴覚学専攻	博士課程前期	8	2	6	0	3	0	0	0	17	2	0	8(8)	9	4(3)	3			
		博士課程後期	8	2	5	0	1	0	0	0	14	2	0	8(8)	6	4(3)	3			
合 計			117	8	78	0	50	0	1	0	246	8	0	115(115)	131	68(50)	60	46	RA 11名	

() 内は教授の数を内数で示す。

- [注] 1 専任教員については、(表19) のうち、大学院研究科の教育を担当する専任教員について専攻、課程ごとに記入してください。
- 2 専門職大学院については、既存の研究科の1専攻として置かれている場合であっても、次表(表19-4)により別に作表してください。
- 3 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、たとえば、その学部・学科等に基礎を置く当該研究科・専攻等においても専任として授業を担当している常勤教員数も含めて記入してください。その場合、前表(19-2)の専任教員が、本表にも専任教員に算入されます。
- 4 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学院設置基準等における必要専任教員数に留意して大学院研究科の教育を担当する専任教員数を適切に記入してください。
- 5 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制教員を除き、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、専任者(研究条件等において専任教員と同等の者)のみを「専任教員数」の欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄(左側)に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。専任者以外の特任者等については「兼任教員数」欄に含めて記入してください。
- 6 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。
- 7 「研究指導教員数」欄の()には、教授の数を内数で記入してください。
- 8 「専任教員数」欄については、本表内では1人の専任教員を同一の課程に重複して算入しないでください。1人の専任教員を修士課程と博士課程の両課程においてそれぞれ1専攻に限り専任とすることはできますが、どちらか一方の課程において、複数の専攻の専任とすることはできませんので、留意してください。
- 9 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数を記入してください。なお、国立大学所属教員については、「兼任」「兼任」を共に「併任」としている場合もありますが、学外からの併任者は「兼任教員数」欄に記入してください。
- 同一の兼任教員が複数の学科を担当する場合は、それぞれ記入してください(重複可)。大学の状況によっては、兼任教員数の欄は専攻ごとではなく研究科全体で記入しても結構です。
- 10 「設置基準上必要専任教員数」欄には、「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」(平成11年文部省告示 第175号)により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに備考欄にその旨を記述してください。
- 11 「助手」欄には、学部・学科等の専任で大学院研究科の業務にも従事している助手数も含めて記入してください。
- 12 専任教務補助員(例えば、いわゆる副手、実験補助員等)、ティーチング・アシスタント(TA)、リサーチ・アシスタント(RA)については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。

1－4 専門職大学院の教員組織 (表19－4)

該当なし

1-5 事務組織

(表19-5)

	部 署 名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	そ の 他	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局	1	1	1	0	0	0	2
	監査室	2	1	0	0	0	0	2
	経営企画部	2	2	0	1	0	0	3
	総務企画課	5	2	0	2	0	0	7
	人事課	4	1	0	2	0	0	6
	管財課	4	0	3	5	0	0	12
	財務課	3	1	0	2	0	0	5
	小 計	18	6	3	12	0	0	33
	計	21	8	4	12	0	0	37
大学業務系	事務局	0	0	1	0	0	0	1
	学務部	3	3	0	1	0	0	4
	教務課	11	3	0	16	0	0	27
	学生支援課	4	2	0	5	0	0	9
	心理学課	3	1	0	7	0	0	10
	学術情報課	1	0	0	14	0	0	15
	情報推進課	2	1	0	0	0	0	2
	小 計	24	10	0	43	0	0	67
	広報・教育事業部	2	1	0	0	0	0	2
	入試広報課	3	1	0	2	0	0	5
	教育研究推進課	2	1	0	3	0	0	5
	小 計	7	3	0	5	0	0	12
	医療管理部	1	1	1	1	0	0	3
	病院事務課	5	1	0	1	0	0	6
	クリニック事務課	3	1	0	2	0	0	5
	小 計	9	3	1	4	0	0	14
	個体差医療科学センター事務課	1	1	0	0	0	0	1
	計	41	17	2	52	0	0	95
合 計		62	25	6	64	0	0	132

[注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。

2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。なお、いずれにも該当しない職員については、「その他」欄に記入してください。

3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。

4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。

5 「助手」は、「教員組織」(表19～表19-4)に記入してください。

3 専任教員年齢構成

(表21-①)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
薬学部	教 授	0	0	3	9	4	1	0	0	0	0	17
		0.0%	0.0%	17.6%	52.9%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	3	2	4	3	1	0	0	13
		0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	15.4%	30.8%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	5	5	4	0	14
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	35.7%	28.6%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	12
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100%
	学部計	0	0	3	12	6	5	8	6	8	8	56
		0.0%	0.0%	5.4%	21.4%	10.7%	8.9%	14.3%	10.7%	14.3%	14.3%	100%
歯学部	教 授	0	0	4	5	4	4	2	0	0	0	19
		0.0%	0.0%	21.1%	26.3%	21.1%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	1	3	1	7	1	2	0	0	15
		0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	6.7%	46.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	1	4	7	6	5	1	0	24
		0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	16.7%	29.2%	25.0%	20.8%	4.2%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	1	1	4	10	24	2	42
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	9.5%	23.8%	57.1%	4.8%	100%
	学部計	0	0	5	9	10	19	13	17	25	2	100
		0.0%	0.0%	5.0%	9.0%	10.0%	19.0%	13.0%	17.0%	25.0%	2.0%	100%

(表21-②)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
看護福祉学部	教 授	0	0	2	6	5	4	1	0	0	0	18
		0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	27.8%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	1	3	5	3	3	0	0	15
		0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	20.0%	33.3%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	1	1	0	4	4	4	0	0	14
		0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	2	3	3	5	2	15
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	20.0%	33.3%	13.3%	100%
	学部計	0	0	3	8	8	15	11	10	5	2	62
		0.0%	0.0%	4.8%	12.9%	12.9%	24.2%	17.7%	16.1%	8.1%	3.2%	100%
心理科学部	教 授	0	2	3	4	4	1	0	0	0	0	14
		0.0%	14.3%	21.4%	28.6%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	1	1	3	2	0	0	7
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	2	0	0	3	1	0	0	0	6
		0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100%
	学部計	0	2	5	4	5	5	4	3	0	1	29
		0.0%	6.9%	17.2%	13.8%	17.2%	17.2%	13.8%	10.3%	0.0%	3.4%	100%

(表21-③)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
教養教育担当	教 授	0	0	6	6	1	1	0	0	0	0	14
		0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	1	0	4	2	1	0	0	8
		0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	6
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学部計	0	0	6	7	1	5	4	4	1	0	28
		0.0%	0.0%	21.4%	25.0%	3.6%	17.9%	14.3%	14.3%	3.6%	0.0%	100%
看護福祉学研究科	教 授	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学部計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%

(表21-④)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
個性差医療 科学センター	教 授	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	6
		0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	3	3	1	0	0	0	7
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	1	0	0	2	0	3	4	0	0	10
		0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	0	4	3	3	0	10
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%	100%
	学部計	0	1	0	1	6	7	8	7	3	0	33
		0.0%	3.0%	0.0%	3.0%	18.2%	21.2%	24.3%	21.2%	9.1%	0.0%	100%
個性差健康 科学研究所	教 授	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100%
	学部計	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
		0.0%	33.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100%

(表21-⑤)

学部・研究科	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	計
大学教育 開発センター	教 授	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	専任講師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	助教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	学部計	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
0.0%		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
大学合計		0	5	22	42	36	56	50	48	42	13	314
		0.0%	1.6%	7.0%	13.4%	11.5%	17.8%	15.9%	15.3%	13.4%	4.1%	100%
定年65歳 (ただし、特任教員は70歳)												

※薬学部助教の26歳～30歳8名には、24歳2名、25歳1名を含む。

心理科学部助教の26歳～30歳1名は、24歳。

[注] 1 「Ⅳ 1 全学の教員組織」(表19)のうち、学部、大学院研究科(及びその他の組織)に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。

ただし、教養教育担当者が学部に分属しているものの教養教育は全学共通で行っている場合は、その教員数を学部から除き、教養教育担当者の表を学部準じて別個に作成してください。

2 各欄の下段にはそれぞれ「計」欄の数値に対する割合を記入してください。

4 専任教員の担当授業時間

薬学部（64人） ※ 1：育児休業取得中の講師1名を除く

（表22-①）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	24.7 授業時間	30.9 授業時間	23.1 授業時間	23.7 授業時間	1 授業時間 40 分
最 低	8.3 授業時間	5.6 授業時間	5.5 授業時間	0.1 授業時間	
平 均	12.2 授業時間	12.0 授業時間	9.6 授業時間	4.0 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

歯学部（106人） ※ 1：診療所担当講師 1 名を除く

（表22-②）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	11.4 授業時間	8.4 授業時間	8.8 授業時間	5.6 授業時間	1 授業時間 40 分
最 低	1.4 授業時間	2.1 授業時間	1.3 授業時間	1.1 授業時間	
平 均	5.4 授業時間	5.5 授業時間	5.1 授業時間	2.5 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

看護福祉学部（67人）*担当時間数0.1に満たない者2名を除く

（表22-③）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	9.6 授業時間	8.7 授業時間	10.1 授業時間	5.8 授業時間	1 授業時間 40分
最 低	1.6 授業時間	1.1 授業時間	3.5 授業時間	0.7 授業時間	
平 均	5.7 授業時間	5.3 授業時間	5.6 授業時間	3.5 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

心理科学部（34人）

（表22-④）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	16.1 授業時間	16.0 授業時間	15.3 授業時間	9.2 授業時間	1 授業時間 40分
最 低	10.4 授業時間	10.6 授業時間	11.5 授業時間	—	
平 均	13.0 授業時間	13.1 授業時間	13.0 授業時間	4.6 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

看護福祉学研究科（1人）

（表22-⑤）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	1.8 授業時間	—	—	—	1 授業時間 4 0 分
最 低	1.8 授業時間	—	—	—	
平 均	1.8 授業時間	—	—	—	
責任授業時間数	—	—	—	—	

個性差医療科学センター（33人）

（表22-⑥）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	16.1 授業時間	16.0 授業時間	15.3 授業時間	9.2 授業時間	1 授業時間 4 0 分
最 低	10.4 授業時間	10.6 授業時間	11.5 授業時間	—	
平 均	13.0 授業時間	13.1 授業時間	13.0 授業時間	4.6 授業時間	
責任授業時間数	—	—	—	—	

個体差健康科学研究所（2人）

*担当時間数0.1に満たない者1名を除く

（表22-⑦）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	0.9 授業時間	2.2 授業時間	—	—	1 授業時間 4 0 分
最 低	0.9 授業時間	2.2 授業時間	—	—	
平 均	0.9 授業時間	2.2 授業時間	—	—	
責任授業時間数	—	—	—	—	

大学教育開発センター（2人）

（表22-⑧）

区 分 \ 教 員	教 授	准 教 授	講 師	助 教	備 考
最 高	5.2 授業時間	1.8 授業時間	—	—	1 授業時間 4 0 分
最 低	5.2 授業時間	1.8 授業時間	—	—	
平 均	5.2 授業時間	1.8 授業時間	—	—	
責任授業時間数	—	—	—	—	

- [注] 1 「Ⅳ 1 全学の教員組織」（表19）中、学部、大学院研究科（及びその他の組織）に記載の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。
- なお、表19では、授業を担当していない教員を含めた作表をお願いしていますが、本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表には含めないでください。その際、表19の人数と本表の人数計が合わない理由を（※1）に付記してください。
- （記入例：※1「サバティカル取得中の教授1人を除
- 2 「Ⅳ 2 専任教員個別表」（表20）で算出した年間平均毎週授業時間数をもとに、専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
 - 3 「備考」欄に1授業時間が何分であるかを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
 - 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「－」を記入してください。
 - 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
 - 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めること。

5 専任教員の給与

(表23)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教 授	准教授	講 師	助 教
薬学部	最 低	9,522,530	7,338,035	6,930,226	4,852,618
	平 均	10,854,749	8,593,240	7,392,802	5,747,511
歯学部	最 低	9,385,453	8,137,005	7,081,995	6,136,334
	平 均	11,223,617	9,342,112	8,562,053	7,048,767
看護福祉学部	最 低	7,679,872	7,675,657	6,453,685	3,835,680
	平 均	10,450,386	8,608,074	7,507,965	5,425,069
心理科学部	最 低	9,706,849	7,011,163	6,210,126	5,486,165
	平 均	11,741,535	8,128,940	7,932,974	5,486,165
看護福祉学研究科	最 低	3,863,385	—	—	—
	平 均	3,863,385	—	—	—
個体差医療科学センター	最 低	9,748,129	10,379,840	6,397,298	5,759,300
	平 均	11,549,457	10,942,141	8,960,557	7,612,935
個体差健康科学研究所	最 低	10,854,851	8,920,714	—	6,028,480
	平 均	10,854,851	8,920,714	—	6,028,480
大学教育開発センター	最 低	10,699,660	7,992,595	—	—
	平 均	10,699,660	7,992,595	—	—

[注] 1 本「大学基礎データ」作成前年(2008年)1月から12月の1年間を対象として作成してください。

2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。

3 原則として「Ⅳ 1 全学の教員組織」(表19)に掲げた組織の順に作成してください。

4 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員） （表25）

該当なし

3 専任教員の研究費

(表29)

学部・研究科等	総 額 (A)	総 額 (B) (除、講座・研究室 等の共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備 考
薬学部	49,632,265	49,632,265	64	775,504	775,504	
歯学部	49,831,240	49,831,240	107	465,713	465,713	
看護福祉学部	34,855,135	34,855,135	68	512,576	512,576	
心理科学部	23,073,881	23,073,881	35	659,254	659,254	
看護福祉学研究科	270,575	270,575	1	270,575	270,575	
個体差医療科学センター	28,108,434	28,108,434	31	906,724	906,724	
個体差健康科学研究所	3,193,765	3,193,765	3	1,064,588	1,064,588	
大学教育開発センター	351,452	351,452	2	175,726	175,726	
計	189,316,747	189,316,747	311	608,736	608,736	

[注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数（助手を除く）を記入してください。

2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。

3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

4 本表における専任教員数は、（表34）と一致します。

4 専任教員の研究旅費

(表30)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
薬学部	総 額	-	2,999,000	-	-	3,672,690	7,709,560	
	支 給 件 数	-	3	-	-	20	168	
歯学部	総 額	-	-	-	-	4,288,984	7,195,910	
	支 給 件 数	-	-	-	-	31	130	
看護福祉学部	総 額	-	-	-	-	1,640,051	9,728,996	
	支 給 件 数	-	-	-	-	9	213	
心理科学部	総 額	-	-	-	-	2,120,430	5,924,391	
	支 給 件 数	-	-	-	-	10	87	
看護福祉学研究科	総 額	-	-	-	-	-	429,520	
	支 給 件 数	-	-	-	-	-	4	
個体差医療科学 センター	総 額	-	-	-	-	1,990,189	3,307,380	
	支 給 件 数	-	-	-	-	12	50	
個体差健康科学 研究所	総 額	-	-	-	-	-	-	
	支 給 件 数	-	-	-	-	-	-	
大学教育開発 センター	総 額	-	-	-	-	-	66,540	
	支 給 件 数	-	-	-	-	-	1	
計	総 額	-	2,999,000	-	-	13,712,344	34,362,297	長期海外研修（3ヶ月以上1年以内）の支給金額は1名当たり200万円が上限
	支 給 件 数	-	3	-	-	82	653	

[注] 1 2008年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」（表29）は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

5 学内共同研究費

(表31)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
薬学部	8,500,000	14	
歯学部	11,500,000	19	
看護福祉学部	1,000,000	2	
心理科学部	1,500,000	3	
看護福祉学研究科	0	0	
個体差医療科学センター	500,000	1	
個体差健康科学研究所	1,000,000	1	
大学教育開発センター	0	0	
計	24,000,000	40	

- [注] 1 2008年度の実績を記入してください。
- 2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
- 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
- 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表32）中の学内共同研究費の合計と一致します。

6 教員研究費内訳

(表32-①)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
薬学部	研究費総額		70,844,433	100%	89,100,534	100%	101,449,515	100.0%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	39,314,433	55.5%	54,900,534	61.6%	64,013,515	63.1%
		学内共同研究費	8,000,000	11.3%	9,000,000	10.1%	8,500,000	8.4%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	16,580,000	23.4%	16,900,000	19.0%	16,656,000	16.4%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	2,000,000	2.8%	0	0.0%	8,080,000	8.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	1,050,000	1.5%	2,540,000	2.9%	300,000	0.3%
		奨学寄附金	2,900,000	4.1%	4,760,000	5.3%	3,900,000	3.8%
		受託研究費	1,000,000	1.4%	1,000,000	1.1%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-②)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
歯学部	研究費総額		139,766,053	100.0%	179,174,256	100.0%	193,836,134	100.0%
	学内	学 經常研究費 (教員当り積算校費総額)	67,891,053	48.6%	70,376,256	39.3%	61,316,134	31.6%
		学 学内共同研究費	13,000,000	9.3%	13,000,000	7.3%	11,500,000	5.9%
		学 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	学 科学研究費補助金	41,300,000	29.5%	69,315,000	38.7%	77,960,000	40.2%
		学 政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	6,200,000	4.4%	7,750,000	4.3%	16,000,000	8.3%
		学 民間の研究助成財団 等からの研究助成金	400,000	0.3%	8,260,000	4.6%	2,880,000	1.5%
		学 奨学寄附金	3,995,000	2.9%	5,173,000	2.9%	4,815,000	2.5%
		学 受託研究費	2,980,000	2.1%	4,000,000	2.2%	18,165,000	9.4%
		学 共同研究費	4,000,000	2.9%	1,300,000	0.7%	1,200,000	0.6%
		学 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-③)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
看護福祉学部	研究費総額		60,848,467	100.0%	61,449,484	100.0%	61,804,182	100.0%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	48,069,467	79.0%	44,869,484	73.0%	46,224,182	74.8%
		学内共同研究費	1,000,000	1.6%	1,000,000	1.6%	1,000,000	1.6%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	7,879,000	13.0%	13,030,000	21.2%	12,480,000	20.2%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	1,900,000	3.1%	2,550,000	4.2%	1,600,000	2.6%
		奨学寄附金	2,000,000	3.3%	0	0.0%	500,000	0.8%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-④)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
心理科学部	研究費総額		40,100,327	100.0%	46,683,115	100.0%	48,328,702	100.0%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	27,500,327	68.6%	30,623,115	65.6%	31,118,702	64.4%
		学内共同研究費	1,000,000	2.5%	1,000,000	2.1%	1,500,000	3.1%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	6,100,000	15.2%	11,910,000	25.5%	13,760,000	28.5%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0.0%	1,950,000	4.2%	1,950,000	4.0%
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	2,500,000	6.2%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	3,000,000	7.5%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	1,200,000	2.6%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-⑤)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
看護福祉学研究科	研究費総額		1,355,176	100.0%	872,946	100.0%	700,095	100.0%
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	1,355,176	100.0%	872,946	100.0%	700,095	100.0%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	科学研究費補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-⑥)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
個体差医療科学センター	研究費総額		38,748,334	100.0%	40,229,253	100.0%	42,026,003	100.0%
	学内	学 經常研究費 (教員当り積算校費総額)	28,848,334	74.4%	29,719,253	73.9%	33,406,003	79.5%
		学 学内共同研究費	500,000	1.3%	500,000	1.2%	500,000	1.2%
		学 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学外	学 科学研究費補助金	8,700,000	22.5%	5,290,000	13.1%	4,420,000	10.5%
		学 政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		学 民間の研究助成財団等からの研究助成金	400,000	1.0%	2,000,000	5.0%	1,900,000	4.5%
		学 奨学寄附金	300,000	0.8%	2,000,000	5.0%	1,800,000	4.3%
		学 受託研究費	0	0.0%	720,000	1.8%	0	0.0%
		学 共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		学 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-⑦)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
個体差健康科学 研究所	研究費総額		4,350,657	100.0%	54,284,649	100.0%	62,993,765	100.0%
	学 内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	1,530,657	35.2%	2,724,649	5.0%	3,193,765	5.1%
		学内共同研究費	1,000,000	23.0%	1,000,000	1.9%	1,000,000	1.6%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	学 外	科学研究費補助金	0	0.0%	31,450,000	57.9%	30,800,000	48.9%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	1,820,000	41.8%	19,110,000	35.2%	28,000,000	44.4%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

6 教員研究費内訳

(表32-⑧)

学部・研究科等	研究費の内訳		2006年度		2007年度		2008年度	
			研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）
大学教育開発センター	研究費総額		0	0.0%	0	0.0%	417,992	100.0%
	学	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	0	0.0%	0	0.0%	417,992	100.0%
		学内共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	内	科学研究費補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		奨学寄附金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		受託研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		共同研究費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
		その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表29)の(A)+(表30)の計、経常研究費、(表31)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表33)

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2006年度			2007年度			2008年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
薬学部	35	7	20.0%	38	3	7.9%	45	5	11.1%
歯学部	95	12	12.6%	105	22	21.0%	95	14	14.7%
看護福祉学部	18	6	33.3%	12	5	41.7%	17	1	5.9%
心理科学部	12	0	0.0%	14	5	35.7%	14	3	21.4%
看護福祉学研究科	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%
個体差医療科学センター	11	2	18.2%	6	1	16.7%	12	2	16.7%
個体差健康科学研究所	2	0	0.0%	3	0	0.0%	2	1	50.0%
大学教育開発センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	173	27	15.6%	178	36	20.2%	185	26	14.1%

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表34)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A + B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッ ドの額	その他の学外研究 費総額 (B)	うちオーバーヘッ ドの額	
薬学部	64	16,656,000	3,636,000	12,280,000	1,863,000	28,936,000
歯学部	107	77,960,000	17,760,000	43,060,000	3,227,000	121,020,000
看護福祉学部	68	12,480,000	2,880,000	2,100,000	0	14,580,000
心理科学部	35	13,760,000	3,060,000	1,950,000	450,000	15,710,000
看護福祉学研究科	1	0	0	0	0	0
個体差医療科学センター	31	4,420,000	1,020,000	3,700,000	0	8,120,000
個体差健康科学研究所	3	30,800,000	2,400,000	28,000,000	6,461,000	58,800,000
大学教育開発センター	2	0	0	0	0	0
合 計	311	156,076,000	30,756,000	91,090,000	12,001,000	247,166,000

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2008年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2008年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。
- 4 本表における専任教員数は、2008年度の教員数であり、(表29)及び(表30)と一致します。

9 教員研究室

(表35)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1 室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(%) (A/B*100)	教員 1 人当 たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
薬 学 部	53	61	114	4,608.7	29.9	49.6	65	81.5	23.3	14
歯 学 部	63	39	102	3,995.2	22.5	66.0	107	58.9	11.7	53
看 護 福 祉 学 部	55	9	64	2,096.9	25.0	80.1	69	79.7	19.2	16
心 理 科 学 部	36	6	42	1,229.4	25.4	52.5	34	100.0	24.0	2
看護福祉学研究科	1	0	1	41.2	41.2	0.0	1	100.0	41.2	0
個 体 差 医 療 科 学 セ ン タ ー	12	5	17	1,075.6	21.2	164.2	33	36.4	7.7	21
個 体 差 健 康 科 学 研 究 所	3	6	9	494.6	27.1	68.9	3	100.0	27.1	0
大 学 教 育 開 発 セ ン タ ー	2	0	2	54.0	27.0	0.0	2	100.0	27.0	0
計	225	126	351	13,595.6	25.4	62.1	314	71.7	17.0	106

[注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。

2 「1 室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員 1 人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。

3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として 100%と記入してください。

4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

VI 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表36)

(当別キャンパス)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
290,863.3	26,848.0	68,051.7	28,645.0	51	6,985.4

(札幌あいの里キャンパス)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
29,071.3	11,392.7	17,514.3	6,114.0	18	1,457.8

(石狩キャンパス)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要 校地面積 (m ²)	校舎面積 (m ²)	設置基準上必要 校舎面積 (m ²)	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m ²)
1,155.0	—	418.3	—	—	—

- [注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、便所などが挙げられます。
- 2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。
- 3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

2 主要施設の概況

(表36-2)

施設名	用 途	建築年	延床面積(㎡)	備 考
薬 学 部 棟	講義室、研究室、自習室、 実習・実験室等	昭和50(1975)年	13,078.1	平成20年(2008)年に耐震補強改修 工事を実施済
歯 学 部 棟	講義室、研究室、自習室、 実習・実験室等	昭和53(1978)年	12,282.6	平成21年(2009)年に耐震補強改修 工事を実施予定
看護福祉学部棟	講義室、研究室、自習室、 実習・実験室等	平成5年(1993)年	10,885.0	
心理科学部	講義室、研究室、自習室、 実習・実験室等	平成元年(1989)年	7,741.7	
基 礎 棟	講義室、研究室、実習・実 験室等	昭和60(1985)年	3,761.9	
中央講義棟	講義室、自習室、実習室等	平成19(2007)年	4,755.9	
総合図書館	閲覧室、保存書庫等	昭和61(1986)年	4,574.0	
動物実験センター	研究室、実験室、飼育室等	昭和63(1988)年	1,866.7	
アイソトープ研究センター	研究室、実験室等	昭和57(1982)年	1,232.0	
個体差健康科学研究所	研究室、実験室等	平成14(2002)年	811.0	
薬用植物園	温室、研究室等	昭和60(1985)年	341.5	
体 育 館	運動施設、研究室等	昭和54(1979)年	1,751.0	平成20年(2008)年に耐震補強改修 工事を実施済
茨戸教育研修センター	研修室、艇庫等	平成6(1994)年	418.3	

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室 数	総面積(㎡) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当たり面積 (㎡) (A/B)	備 考
薬学部	講 義 室	1	369.25	専用	266	704	0.52	(P1)
		1	187.11	共用	186	744	0.25	薬学研究科と共用 (P2)
		1	171.28	共用	144	1,272	0.13	歯学部と共用 (G1)
		5	1,478.87	共用	833	2,017	0.73	歯学部、看護福祉学部と共用 (C1～5)
	演 習 室	9	509.77	共用	360	744	0.69	薬学研究科と共用 (C11～13, C21～26)
	学 生 自 習 室							
歯学部	講 義 室	5	860.14	専用	743	568	1.51	(D1～4, D6)
		1	171.28	共用	144	1,272	0.13	歯学部と共用 (G1)
		5	1,478.97	共用	853	2,017	0.73	薬学部、看護福祉学部と共用 (C1～5)
	演 習 室	4	186.23	共用	175	610	0.30	歯学研究科と共用 (演習室1～3, 5)
	学 生 自 習 室							
看護福祉学部	講 義 室	10	1,828.00	専用	1,547	745	2.45	(N21～23, N25～27, N41～44)
		1	120.00	共用	100	797	0.15	看護福祉学研究科と共用 (N24)
		1	314.00	共用	214	1,449	0.22	薬学部と共用 (N31)
	演 習 室	8	306.00	共用	217	797	0.38	看護福祉学研究科と共用 (2-1～2-4, 4-1～4-4)
	学 生 自 習 室							
心理科学部	講 義 室	8	869.00	専用	709	526	1.65	(講義室2～9)
		1	56.80	共用	38	568	0.10	心理科学研究科と共用(講義室10)
		1	198.00	共用	167	568	0.35	心理科学研究科と共用(講義室1/LL/CPU)
	演 習 室	6	202.00	共用	145	568	0.36	心理科学研究科と共用(3-1～3-3, 4-4～4-6)
	学 生 自 習 室							
薬学研究科	講 義 室	1	187.11	共用	186	744		薬学部と共用 (P2)
	演 習 室	9	509.77	共用	360	744	0.69	薬学部と共用 (C11～13, C21～26)
	学 生 自 習 室							
歯学研究科	講 義 室	1	66.64	専用	52	42		(D5)
	演 習 室	4	186.23	共用	175	610		歯学部と共用 (演習室1～3, 5)
	学 生 自 習 室							
看護福祉学 研究科	講 義 室	1	120.00	共用	100	797		看護福祉学部と共用 (N24)
	演 習 室	8	306.00	共用	217	797		看護福祉学部と共用 (2-1～2-4, 4-1～4-4)
	学 生 自 習 室	2	240.00	専用	60	52	4.62	
心理科学研究科	講 義 室	1	56.80	共用	38	568		心理科学部と共用 (講義室10)
		1	198.00	共用	167	568		心理科学部と共用(講義室1/LL/CPU)
	演 習 室	6	202.00	共用	145	568		心理科学部と共用(3-1～3-3, 4-4～4-6)
	学 生 自 習 室	2	132.00	専用	22	42		
全共学通	体 育 館	1	1,746.49	共用				

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に合わせて記載してください。

6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出してください。

4 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表38)

用 途 別 室 名	室 数	総面積 (㎡)	収 容 人 員 (総数)	収容人員1人当たりの 面積(㎡)	使用学部・研究科 等	備 考
薬学部実習室	5	1,589.8	400	4.0	薬学部	薬学部棟 (214、217、312、315、318)
薬学部実習室	2	631.7	368	1.7	薬学部、歯学部	基礎棟
薬学部実習室	1	424.6	150	2.8	薬学部	中央講義棟
薬学部 情報処理／CALL教室	1	168.0	80	2.1	薬学部、歯学部、看護福祉学部	中央講義棟
歯学部実習室	7	2,303.5	966	2.4	歯学部	歯学部棟
看護福祉学部実習室	8	1,358.0	400	3.4	看護福祉学部	看護福祉学部棟
看護福祉学部 情報処理教室	1	180.0	64	2.8	看護福祉学部、薬学部、歯学部	看護福祉学部棟
心理科学部 講義室1 LL／CPU教室	1	198.0	167	1.2	心理科学部、心理科学研究科	【再掲】
心理科学部 実習室 (大実験)	1	90.0	14	6.4	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (アセスメント)	1	72.0	20	3.6	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (心理療法)	1	72.0	20	3.6	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (情報処理)	1	72.0	7	10.3	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (非言語療法)	1	41.0	35	1.2	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (発達支援センター)	1	236.3	34	7.0	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (音声/聴覚実験)	1	144.0	42	3.4	心理科学部	心理科学部棟
心理科学部 実習室 (言語訓練室)	1	180.0	50	3.6	心理科学部	心理科学部棟
計	34	7,760.9	2,817	2.8	—	—

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「3 学部・研究科等ごとの講義室、演習室等の面積・規模」(表37)の講義室・演習室に含めても結構です。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

7 実験・実習室の主な設備・機器の設置とその更新状況については、点検・評価報告書に記載してください。

4 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表40-①)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
薬 学 部	1 ～ 50	3	133	27	20.3	中央棟演習室（3室）使用
	51 ～ 100	6		31	23.3	中央棟講義室（C4, C5）、演習室（4室）使用
	101 ～ 150	0		0	0.0	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	3		58	43.6	中央棟講義室（C1, C2, C3）使用
	251 ～ 300	1		17	12.8	薬学部棟講義室（P1）使用
	計			133	100.0	
学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
歯 学 部	1 ～ 50	0	86	0	0.0	
	51 ～ 100	4		9	10.5	中央棟講義室（C4～C5, CALL教室）、看護棟（情報処理教室）使用
	101 ～ 150	4		62	72.1	基礎棟講義室（G1）、歯学部棟講義室（D2～D4）使用
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	2		15	17.4	歯学部棟講義室（D1）、看護棟講義室（N31）使用
	251 ～ 300	0		0	0.0	
	計			86	100.0	

(表40-②)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
看護福祉学部	1 ～ 50	0	140	0	0.0	
	51 ～ 100	3		30	21.4	看護棟講義室(N26, N27, N42)使用
	101 ～ 150	4		68	48.6	看護棟講義室(N22, N23, N24, N43)使用
	151 ～ 200	2		29	20.7	看護棟講義室(N25, N44)使用
	201 ～ 250	0		0	0.0	
	251 ～ 300	3		13	9.3	看護棟講義室(N21, N41, N31)使用
計		12		140	100.0	
学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
心理科学部	1 ～ 50	0	239	0	0.0	
	51 ～ 100	7		165	69.0	心理棟講義室(2～7、9) 使用
	101 ～ 150	1		42	17.6	心理棟講義室(8) 使用
	151 ～ 200	1		32	13.4	心理棟講義棟(1) 使用
	201 ～ 250	0		0	0.0	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
計		9		239	100.0	

(表40-③)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
薬学研究科	1 ～ 50	1	5	5	100.0	中央棟演習室（1室）使用
	51 ～ 100	0		0	0.0	
	101 ～ 150	0		0	0.0	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	0		0	0.0	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
計		1		5	100.0	
学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
歯学研究科	1 ～ 50	0	5	0	0.0	
	51 ～ 100	1		5	100.0	歯学部棟講義室(D5)使用
	101 ～ 150	0		0	0.0	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	0		0	0.0	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
計		1		5	100.0	

(表40-④)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
看護福祉学研究科	1 ～ 50	8	27	27	100.0	看護棟演習室(2-1～2-4, 4-1～4-4)使用
	51 ～ 100	0		0	0.0	
	101 ～ 150	0		0	0.0	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	0		0	0.0	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
計		8		27	100.0	
学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
心理科学研究科	1 ～ 50	6	87	87	100.0	心理棟演習室(3-1～3-4, 4-4～4-6)使用
	51 ～ 100	0		0	0.0	
	101 ～ 150	0		0	0.0	
	151 ～ 200	0		0	0.0	
	201 ～ 250	0		0	0.0	
	251 ～ 300	0		0	0.0	
計		6		87	100.0	

- [注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。
- 2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語Ⅰ」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。
- 3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

VII 図書・電子媒体

1 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表41)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料の 所蔵数(点 数)	電子ジャーナ ルの種類(種 類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2006年度	2007年度	2008年度	
総合図書館	198,305	163,806	1,597	1,182	4,669	3,500	4,521	5,412	5,390	
総合図書館分館	23,199	21,056	58	49	678	-	1,388	1,135	934	電子ジャーナル：総合図 書館集中管理
計	221,504	184,862	1,655	1,231	5,347	3,500	5,909	6,547	6,324	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

2 図書館利用状況

(表42)

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2006年度	2007年度	2008年度	2006年度	2007年度	2008年度	
総合図書館	8 (5)	4 (1)	233	月～金 9:00 ～ 21:00	174,497人 ()	168,964人 ()	174,890人 ()	16,324冊 教職員: 2,881 学生: 13,443	15,357冊 教職員: 2,916 学生: 12,441	14,777冊 教職員: 2,871 学生: 11,906	休館日: 日曜 (6, 7, 10, 11, 12, 1, 2 月以外) 祝祭日、創立記念日 (10/10) 8/13-16、12/28-1/6
				土 10:00 ～ 18:00							
				日祭日 10:00 ～ 18:00							
				長期休暇中 9:00 ～ 19:00							
総合図書館分館	2 (1)	1 (0)	233	月～金 9:00 ～ 21:00	82,667人 ()	95,170人 ()	97,353人 ()	10,831冊 教職員: 870 学生: 9,961	10,434冊 教職員: 762 学生: 9,672	10,669冊 教職員: 900 学生: 9,769	休館日: 日曜 (6, 7, 10, 11, 12, 1, 2 月以外) 祝祭日、創立記念日 (10/10) 8/13-16、12/28-1/6
				土 10:00 ～ 18:00							
				日祭日 10:00 ～ 18:00							
				長期休暇中 9:00 ～ 19:00							

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

3 学生閲覧室等

(表43)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B \times 100$	その他の学習室の 座席数 ()	備 考
総合図書館	375	2,196	17.1%	(—)	薬学部:620, 歯学部:600, 看護福祉学部:760, 薬学研究科:92, 歯学研究科:72, 看護福祉学研究科:52
総合図書館分館	62	534	11.6%	(—)	心理科学部:492, 心理科学研究科:42
計	437	2,730	16.0%	(—)	

[注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大

2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。

3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

Ⅷ 学生生活

1 奨学金給付・貸与状況

(表44-①)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B \times 100$	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A	備 考
学校法人東日本学園奨学金 (一般奨学生)	学内	貸与	114	2,695	4.2	60,800,000	533,333	
学校法人東日本学園奨学金 (災害・事故等奨学生)	学内	貸与	0	2,695	0.0	0	0	
日本学生支援機構	学外	貸与	984	2,695	36.5	932,496,000	947,659	
北海道看護職員養成修学資金	学外	貸与	11	2,695	0.4	4,416,000	401,455	看護学科、大学院看護学専攻を対象(473名)
北海道介護福祉士等修学資金	学外	貸与	3	2,695	0.1	1,224,000	408,000	臨床福祉学科介護コースを対象(57名)
財団法人交通遺児育英会	学外	貸与	2	2,695	0.1	1,440,000	720,000	
あしなが育英会	学外	貸与	1	2,695	0.0	480,000	480,000	
財団法人森田奨学育英会	学外	貸与	1	2,695	0.0	600,000	600,000	歯学部4～6年生、及び歯学研究科3～4年生を対象(301名)
学校法人東日本学園奨学金 (入学一時金分割奨学生)	学内	貸与	0	2,513	0.0	0	0	学部1年生を対象(585名)

(表44-②)

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (A)	在籍学生総数 (B)	在籍学生数に対する比率 $A/B \times 100$	支給総額 (C)	1件当たり支給額 C/A	備 考
学校法人東日本学園奨学金 (学業継続奨学生)	学内	貸与	0	2,513	0.0	0	0	学部4年生(歯学部は6年生)を対象(599名)
札幌市奨学生	学外	給付	3	2,513	0.1	324,000	108,000	
財団法人河内奨学財団奨学生	学外	給付	1	2,513	0.0	480,000	480,000	薬学部を対象(651名)
網走市奨学生	学外	貸与	1	2,513	0.0	216,000	216,000	
風連町奨学生	学外	貸与	1	2,513	0.0	360,000	360,000	
八戸市奨学生	学外	貸与	1	2,513	0.0	480,000	480,000	
厚岸町奨学生	学外	貸与	1	2,513	0.0	300,000	300,000	
財団法人青森県教育厚生会奨学生	学外	貸与	1	2,513	0.0	400,000	400,000	

*2008年度実績(学部在籍学生総数:2,513 大学院在籍学生総数:182 計2,695)

- [注] 1 2008年度実績をもとに作表してください。
- 2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。
- 3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。
- 4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

2 学生相談室利用状況

(表45)

施設の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
						2006年度	2007年度	2008年度	
学生相談室 (当別キャンパス)	0	1	1	46	9 : 30 ~ 16 : 30	16	32	91	臨床心理士
学生相談室 (札幌あいの里キャンパス)	0	1	1	43	9 : 30 ~ 16 : 30	68	81	132	臨床心理士

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

IX 財 務

1-1 消費収支計算書関係比率（法人全体のもの）

（表46）

	比 率	算 式（＊１００）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	% 53.2	% 49.4	% 52.6	% 54.9	% 52.6	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	77.3	75.7	78.1	84.0	84.3	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰 属 収 入}}$	30.6	30.6	32.7	33.5	31.1	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	7.0	5.8	6.4	6.4	6.0	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰属収入－消費支出}}{\text{帰属収入}}$	9.0	13.6	7.9	4.6	10.2	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	91.0	86.4	92.1	95.4	89.8	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	109.0	95.2	111.2	105.8	100.9	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰 属 収 入}}$	68.9	65.3	67.3	65.4	62.4	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.7	2.3	1.8	1.1	1.0	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	12.2	15.5	12.6	13.3	16.8	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰 属 収 入}}$	16.5	9.2	17.2	9.8	11.0	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{消 費 支 出}}$	12.5	10.7	11.9	11.2	11.0	

[注] 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、本表のみを作表してください。ただし、医・歯学部等で附属病院を併設している場合は、次表（表46-2）も作成してください。

1－2 消費収支計算書関係比率（大学単独のもの）

（表46-2）

	比 率	算 式（＊１００）	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	47.4	43.5	45.4	48.6	45.8	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	58.5	57.0	56.5	61.8	61.6	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	24.0	21.6	24.5	25.9	23.9	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	5.7	5.2	6.0	6.1	5.6	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
6	帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	22.7	29.2	23.6	18.8	24.6	
7	消 費 支 出 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	77.3	70.8	76.4	81.2	75.4	
8	消 費 収 支 比 率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	82.6	74.2	94.7	86.0	86.0	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	81.0	76.2	80.5	78.7	74.4	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.9	2.6	1.9	1.3	1.1	
11	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	12.5	17.6	13.4	14.4	18.4	
12	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.4	4.6	19.4	5.6	12.3	
13	減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	14.7	11.7	14.1	12.8	12.6	

〔注〕 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去５年分の比率を記入してください。

2 貸借対照表関係比率

(表47)

	比 率	算 式 (*100)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	67.7	67.9	75.5	77.5	79.1	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	32.3	32.1	24.5	22.5	20.9	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	6.8	6.0	6.1	6.1	6.0	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	8.2	7.1	5.4	5.4	5.0	
5	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	85.0	86.9	88.6	88.4	89.0	
6	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	-32.4	-30.0	-32.7	-33.7	-32.9	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	79.6	78.1	85.2	87.6	88.9	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}+\text{固定負債}}$	73.8	73.0	79.7	81.9	83.3	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	393.5	454.9	457.5	414.1	414.4	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	15.0	13.1	11.4	11.6	11.0	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	17.6	15.1	12.9	13.1	12.4	
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	586.6	570.5	621.0	569.6	568.5	
13	退職給与引当預金率	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	19.4	22.1	38.2	53.3	52.9	
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.2	99.9	99.8	99.9	99.9	
15	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	56.1	55.9	56.0	58.0	58.6	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわします。

1 財政公開状況

(表48)

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・紙	大学機関誌・紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等)	その他 ()	開示請求があれば対 応する
教職員	資金収支計算書	○	○				○		
	消費収支計算書	○	○				○		
	貸借対照表	○	○				○		
	財務状況に関する解説	○	○				○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（事業報告（書））	○	○				○		
在学生	資金収支計算書	○	○				○		
	消費収支計算書	○	○				○		
	貸借対照表	○	○				○		
	財務状況に関する解説	○	○				○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（事業報告（書））	○	○				○		
卒業生	資金収支計算書	○	○				○		
	消費収支計算書	○	○				○		
	貸借対照表	○	○				○		
	財務状況に関する解説	○	○				○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（事業報告（書））	○	○				○		
保護者	資金収支計算書	○	○				○		
	消費収支計算書	○	○				○		
	貸借対照表	○	○				○		
	財務状況に関する解説	○	○				○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（事業報告（書））	○	○				○		
社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書	○	○				○		
	消費収支計算書	○	○				○		
	貸借対照表	○	○				○		
	財務状況に関する解説	○	○				○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（事業報告（書））	○	○				○		
その他 ()	資金収支計算書								
	消費収支計算書								
	貸借対照表								
	財務状況に関する解説								
	その他（ ）								
	その他（ ）								
	その他（ ）								

[注] 1 2008年度決算について2009年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。

2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。

3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。

4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。

5 2009年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

2 財政公開状況（公立大学法人のみ） （表48-2）

該当なし